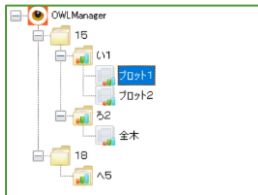


誰でも使える、直感的な森林3次元解析ソフト

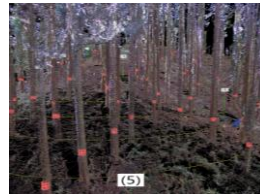
レーザー計測した3D点群から、立木の位置・直径・樹高などを解析。立木位置図(2D)と立木ウォークスルー(3D)で、森林の状態がひと目で分かります。

主な機能



調査データの作成

点群から立木の位置・直径・樹高を抽出し、3D点群と合わせて「調査データ」として管理します。



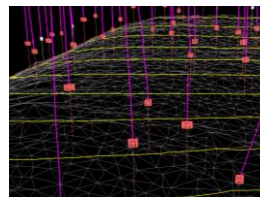
立木ウォークスルー

3D点群を表示します。色付き表示、林地内を歩くように移動するウォークスルーも可能です。



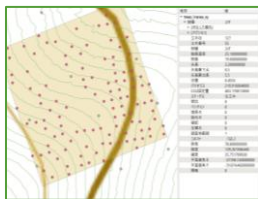
立木位置図

真上から見た立木の位置を示します。直径や樹高によるフィルタで、立木分布が一目で把握できます。



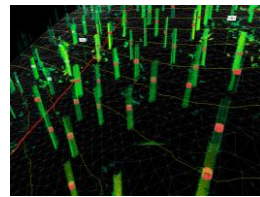
地形・等高線の表示

3D点群から解析した地形や等高線が表示できます。立木の中心線や高さ毎の直径も表示可能です。



CSV出力・Shape出力

立木情報をCSVファイルとして出力できます。位置情報も含めてShapeファイルも出力できます。



点群スライス表示

地面からの高さや基準線からの距離で点群を分割します。特定の範囲の点群だけを表示可能です。

扱う情報

自動抽出される情報

胸高直径	立木本数
樹高	総材積、haあたり材積
曲がり	バイオマス・CO2固定量
立木位置	直径分布

ユーザによる付加情報

立木番号	: エリア内一括設定、立木毎に設定可能
樹種	: 解析時に一括指定。立木毎に変更可能
立木状態	: 生立木、枯損木、病虫害から選択可能
ステータス	: 間伐木、境界木など設定可能

便利な機能 (OWL計測装置との組合せ時のみ)

反射テープ・ピンクリボン検出

計測時に立木に反射テープやピンクリボンを巻くと、それを検出して樹種や立木属性が設定できます。



ピンクリボンの巻付け例
 (間伐木として検出)



ハイブリッド表示

点群と360°画像を視点を合わせて表示します。林内の様子が視覚的に把握できます。



立木の表面やツタ、下草の状態がよく分かります

OWL計測装置 (AME-OL200型)



軽量コンパクトな地上レーザー計測装置

詳しくはこちらへ

URL : https://www.owl-sys.com/owl_spec_list/owl_machine200

開発・販売・お問合せ



株式会社OWL

Tel : 03-6823-7138

Mail : owl@owl-sys.com

HP : <https://www.owl-sys.com>